

『研究社英和大辞典』における発音表記について

橋 本 貞 雄

I. はじめに

II. 発音表記

1. 『研英大初版』の発音表記
2. 『研英大2版』の発音表記
3. 『研英大3版』の発音表記
4. 『研英大4版』の発音表記
5. 『研英大5版』の発音表記
6. 『研英大6版』の発音表記

III. まとめ

『研究社英和大辞典』における発音の表記について

I. は じ め に

日本の英語教育の中で、『研究社英和大辞典』が果たして来た役割は測りしえないものがある。しかしながら、初版から第5版までの改訂において、発音表記に関する限り教育的一貫性を欠いている、といえる。本論は、英語教育の立場からこの点を取り上げ、検討を加えている。

II. 発 音 表 記

音、特に外国語の音を表記しようとする試みは、恐らく外国音との接触とともに始まった、と考えられる。しかし、「一字一音主義」に立った発音表記は国際的記号である International Phonetic Alphabet [国際音標文字——以下 IPA] によって確立された⁽¹⁾。

わが国においては、大正11年出版の三省堂『袖珍コンサイス英和辞典』と昭和2年刊行の KENKYUSHA'S NEW ENGLISH-JAPANESE DICTIONARY ON BI-LINGUAL PRINCIPLES 『新英和大辞典』

[以下『英研大初版』⁽²⁾] の IPA 採用が、本格的使用の始まりといえる。

1. 『研英大初版』の発音表記

昭和2年に出版された初版の「内容の解説」の中で発音に関しての記述は僅かに12行である⁽³⁾。しかし、「編輯の方針」の中で、Jones 式簡明表音法 (broad notation) 採用の根拠として挙げている次の2点は注目に値する。

-
- ① 一音一字主義
 - ② 簡明・合理的・便利

英語の種類に関する記述はないが、もっとも参考にした辞書として C. O.D., P.O.D. を挙げ、Jones 式表記に従ったことからして、British English であることは明かである⁽⁴⁾。なお、この2冊以外に「Oxford, Webster, Standard, Century 等の大辞典をはじめ英米発行の最新辞書類を参考として」⁽⁵⁾と記されているが、発音表記の中に典型的米音の併記は見られない。

付表1「音標文字略解」は、発音について具体的に記述されたものである。このなかで、特に次の2点が注目される。

- ① 3重母音の扱い
- ② Jones 式の [g] の代用としての [g]

母音は、母音 (vowels) と重母音 (diphthongs) に下位分類されている。Diphthong は、本来2重母音を意味し⁽⁶⁾、3重母音とすべき [aiə] と [auə] を加えている点は曖昧な分類と言わざるを得ない。

この問題は、第2版でも継承され、第3版で下位区分をなくすとともに2音節とすることで解決を図っている⁽⁷⁾。

[g] の問題は、第3、第4版で IPA の [g] に従い、第5版で再度 [g] に戻っている。

2. 『研英大2版』の発音表記

昭和8年の改訂増補を経て、昭和11年に第2版が出版された。発音表記上の特記事項として、次の3点が「編輯の方針」の中に明示されている。

- ① Jones 式の簡明表音法 (broad notation) に準拠
- ② 統一と簡潔・明瞭化
- ③ 合成語の発音に慎重な考慮

「内容の解説」の中で、初版と異なる表記上の改良点は次の2点である。

- ① 同一語に二つ以上の発音を示す場合...共通の部分は屢々省略して、単にハイフンを附す
- ② 合成語の場合特にハイフンを使用して発音を読み易くした

この改良点は現在まで引き継がれ、英和辞典の標準的表記法となっている。

「音標文字略解」⁽⁸⁾の中では、特に次の2点が注目される。

- ① [a] を新たに英音に加えた
- ② [aiə] は1音節, [áuə] は2音節とした

[a] は、例文 *à la mode* [a la mod] に見られる通り、英音化したフランス語の表音に用いられている。

[aiə] と [áuə] の問題は、第3版以降3重母音を認めない立場の確立により自然消滅している。

3. 『研英大3版』の発音表記

昭和28年に改訂された第3版は、前2版とは異なるものといえる⁽⁹⁾。発音に限っても、米音を採用しており、しかも英音と米音が異なる場合には米

音を先に示している。この米英2音併記は、以後の版に引き継がれるが、この併記順序は版に依って異なり『研英大』の inconsistency の一つとなっている⁽¹⁰⁾。

hot [hat | hot], erase [iréis | iréiz]

米英2音併記は、当然のことながら発音記号体系にも影響を及ぼしている。米英異なった音体系を発音記号表の中で symmetry に併記しているために hooked schwa と長音表記に無理がある⁽¹¹⁾。

『研英大3版』のもう一つの特徴は、凡例に続いて『英語の歴史』、『語源解説』、『アメリカ英語』、『英米文学の形式と詩法』、『発音解説』、『語彙と語義について』、『音とつづり対照表』の7項目について解説をしている点である。この『発音解説』の中には、IPAの「英語子音分類表」が示されIPAにそった解説がなされている⁽¹²⁾。

また特に注目されるのは、第1版と第2版で不明確であった三重母音を明確にしている点⁽¹³⁾である。

この外に、[hw]を[w]と区別して扱っているが第4版では無くなっている。

4. 『研英大4版』の発音表記

第4版における最大の疑問は、米音・英音併記を英音・米音の順に変更した点である。『発音記号表』、『発音解説』、『凡例』においてなんらこの点に関しての言及はない。

なお、これが次の第5版でもとの米音・英音に戻っている。

子音[g]と3重母音の扱い方は第3版に準じている。

発音記号そのものではないが、補助記号として syllabic consonant (l)

と retroflexion (.) を導入し⁽¹⁴⁾、これまでの音素表記に音声表記の考え方を加えている。

第3版からの解説は、『英語の歴史』、『発音と綴字』、『語彙と語義』、『アメリカ英語』、『語源』、『ギリシャ語・ラテン語の英語に及ぼした影響』、『英米文字の形式と詩法』、『音とつづり対照表』と、英語全般に亘っている。

5. 『研英大5版』の発音表記

第5版は、「まえがき」にその改定の特徴を明記している。発音表記に関したその要点は次の2点である。

- (1) 見出し語・綴り・発音などの上で、英・米の差のある場合に米式を優先させた
- (2) ...本辞典が英語音声学を研究する人たちのための発音辞典としても利用できるように、一部の音素については敢えて異音表記 (allophonic transcription) を採用した。その結果、[ɪ], [ʊ], [t], [ɫ] のような見慣れない記号が使用されている...⁽¹⁵⁾

英語音併記における順序は、第3版の米・英に戻っているが、この根拠に関してはなんら触れられていない。

発音記号については、第3版、第4版で採用している IPA [g] を、初版の [g] に戻している⁽¹⁶⁾。

更に、音に対する基本的考え方の変更として3重母音の復活がある⁽¹⁷⁾。

また、hooked schwa [ə] をもつ [aə], [ɔə] を二重母音として扱っているが、これに相当する英音の [ɑ:], [ɔ:] をも二重母音として表示せざるを得ない矛盾がある。

6. 『研英大』発音表記の比較

第1版から第5版までの発音記号を比較したものが第1表である。なお、「音標文字略解」(第1版, 第2版), 「発音記号表」(第3版, 第4版, 第5版) は付表として掲げてある。

表1 『研英大』版別母音発音表記比較表

| | 第1版 | | 第2版 | | 第3版 | | 第4版 | | 第5版 | |
|------------|-----|--|-----|--|------|------|------|---------|---------|-------|
| | 英 | | 英 | | 米 | 英 | 英 | 米 | 米 | 英 |
| father | ɑ: | | ɑ: | | ɑ: | ɑ: | ɑ: | ɑ: | ɑ: | ɑ: |
| arm | ɑ: | | ɑ: | | ɑə | ɑ: | ɑ: | ɑə | ɑə | ɑ: |
| staff | ɑ: | | ɑ: | | æ | ɑ: | ɑ: | æ, æ(:) | æ, æ(:) | ɑ: |
| cat | æ | | æ | | æ | æ | æ | æ | æ, æ(:) | æ |
| men | e | | e | | e | e | e | e | e | e |
| China | ə | | ə | | ə | ə | ə | ə | ə | ə |
| particular | ə | | ə | | ə | ə | ə | ə | ə | ə |
| bird | ə: | | ə: | | ə: | ə: | ə: | ə: | ə: | ə: |
| bit | i | | i | | i | i | i | i | i | i |
| bee | i: | | i: | | i: | i: | i: | i: | i: | i: |
| domain | o | | o | | o(u) | o(u) | o(u) | o(u) | o(u) | ə(u) |
| orient | ɔ: | | ɔ: | | o: | ɔ: | ɔ: | o: | ɔ:, o: | ɔ:, ɔ |
| box | ɔ | | ɔ | | ɑ | ɔ | ɔ | ɑ | ɑ, ɑ(:) | ɔ |
| shawl | ɔ: | | ɔ: | | o: | ɔ: | ɔ: | o: | ɔ(:) | ɔ: |
| order | ɔ: | | ɔ: | | ɔə | ɔ: | ɔ: | ɔə | ɔə | ɔ: |
| put | u | | u | | u | u | u | u | u | u |
| rude | u: | | u: | | u: | u: | u: | u: | u: | u: |
| but | ʌ | | ʌ | | ʌ | ʌ | ʌ | ʌ | ʌ | ʌ |
| current | ʌr | | ʌr | | ə:r | ʌr | ʌr | ə:r | ə(:)r | ʌr |
| show | ou | | ou | | ou | ou | ou | ou | ou | ou |
| hair | ɛə | | ɛə | | ɛə | ɛə | ɛə | ɛə | ɛə | ɛə |
| airy | ɛər | | ɛər | | ɛ:r | ɛər | ɛər | ɛ(:)r | ɛ(:)ər | ɛər |

『研究社英和大辞典』における発音表記について（橋本）

| | 英 | 英 | 米 | 英 | 英 | 米 | 米 | 英 |
|------------|-----|-----|-------|-----|-----|-------|--------|-----|
| fly | ai | ai | ai | ai | ai | ai | ai | ai |
| how | au | au | au | au | au | au | au | au |
| steer | iə | iə | iə | iə | iə | iə | iə | iə |
| appearance | iər | iər | i(:)r | iər | iər | i(:)ə | ɪ(:)r | iər |
| oil | ɔɪ | ɔɪ | ɔɪ | ɔɪ | ɔɪ | ɔɪ | ɔɪ | ɔɪ |
| day | ei | ei | ei | ei | ei | ei | eɪ | eɪ |
| all | ɔ: | ɔ: | ɔ: | ɔ: | ɔ: | ɔ: | ɔ: | ɔ: |
| fore | ɔ: | ɔ: | oə | ɔ: | ɔ: | oə | ɔə, oə | ɔ: |
| poor | uə | uə | uə | uə | uə | uə | uə | uə |
| assurance | uər | uər | u:r | uər | uər | u(:)r | u(ə)r | uər |
| wire | aɪə | aɪə | aɪə | aɪə | aɪə | aɪə | aɪə | aɪə |
| hour | auə | áuə | auə | auə | auə | auə | auə | auə |
| happy | i | i | i | i | i | i | i | i |

（注）第2版の[a]は除いてある。

第2表は『研英大』版別発音表記の特徴を一覧表にしたものである。

表2 『研英大』版別発音表記特徴一覧表

| 特徴 \ 版 | 第1版 | 第2版 | 第3版 | 第4版 | 第5版 |
|--------------|----------------|-----------------------|-------|-------|--------|
| 英米音併順 | 無 | 無 | 米英 | 英米 | 米英 |
| Hooked Schwa | 無 | 無 | 有 | 有 | 有 |
| 重母音の扱い | 重母音二重, 三重の区別なし | 重母音 áuə に accent 記号あり | 2音節扱い | 2音節扱い | 三重母音扱い |
| g/g の扱い | g | g | g | g | g |

III. ま と め

外国語辞書において、IPA を使用することの是非に関しては検討を要する⁽¹⁸⁾。特に、入門期の学習者にとっては外国語そのものの言語体系と発音記号というもう一つの体系を同時に学習することになり、その負担は決して小さくない。何故 diacritical mark を採用しなかったかに関しては、本論では触れなかったが今後の研究課題としたい。

十分な検討を要する IPA が、日本の英語教育に大きな影響力を持つ『研英大』において版によりその扱い方が異なってきたことは必ずしも好ましいこととは言えない。また第3版、第4版、第5版において英米音の併記が二転三転している点は看過できない問題と言える。

今後の辞書編集、また入門期においての IPA の扱いは大方の議論と専門家の研究を要する問題である。

(注)

1. 国際音声学協会 (International Phonetic Association:IPA) は、1886年にフランスで The Phonetic Teachers' Association として発足した。当初は音声指導を目的としていたが、1888年に International Council が作られ、国際的・統一的表記法が考案され現在に至っている。協会からは The Principles on the International Phonetic Association という51種の言語を表記した小冊子が刊行されている。
2. 『コンサイス英和辞典』は、初版から第6版までが英音表記で第7版は Gerhard 式標準簡易表記を採用した。これは米音であり英米に異なった発音がある場合には (+) 記号で示されている。第8版は米英併示、第9版英米、第10版米英と紆余曲折している。

大正末期から昭和初期に IPA が普及した。その背景として、大正12年文部省の中に「英語教授研究所」(別称「語学教育研究所」)が創立され前年英国

から文部省英語教授顧問として来日していた Harold E. Palmer が初代所長に就任したことが挙げられる。

IPA の設定と英語教育への応用において重要な役割を果たした Daniel Jones と Harold E. Palmer が London 大学の研究室が同じであったことは奇縁といえよう。

Harold E. Palmer は IPA 表記の著作を残しているが特に次の2冊は注目される。

A Grammar of Spoken English on a Strictly Phonetic Basis

(1924年初版, 例文はすべて IPA で書かれている)

A Grammar of English Words

(1938年初版, accent のある syllable の前に符号を付けている。)

『コンサイス』の表記は別の機会に扱うことにする。

3.

2. 發音 音標文字に據つて見出し語の直後に示し、必ず [] を附す。別項『音標文字略解』参照。次に本書で用ひた表音法で特に説明を要するものを例示する。

(1) アクセントは主位強勢の置かれる母音の上に附した。例— [æksidənt]

(2) 音標文字中()内に入れた部分は省略し得る。例— [d(a)irékt], [tʃés(t)nát], [édju(:)keit], [ɔkú:fmā(ŋ)]

(3) 同じ語に二つ以上の發音を示す場合はコンマ(,)で區切る。例— [kimí:rə, kaimí:rə] 而して、第二以下の發音の中で最初の發音と共通の部分は屢省略して、單にハイフンを附す。例— [iksépt, eks-], [kənsáís, kon-], [émjuleitiv, -lɛt-]

(4) 英語化した發音を示した後、外國の原音を示す場合には()内に入れる。例— [æku:fɔ: (aku:fæ:r)] (注意) 佛蘭西語のアクセントは一般に最後の音節にある故、本書では附けてない。例— *chanson* [ʃɔ̃sɔ̃]

4. 『研英大』第1版 p. v, ll. 10-12.

5. Ibid., pp. 14-15.

6. Diphthong [Gr di—+—phthoggos voice] 『研英大』第1版この語源解説からも判る通り, diphthong は「2つの声」を意味し「二重母音」とすべきである。

7. 『研英大』第3版 p. xxvii, ll. 46-49.

8. 『研英大』第2版 p. viii f.

9. 戦後米軍の日本への進駐・政治経済における影響力・教育改革への介入は、戦前の英国志向から米国へと変化したことは事実である。特に、戦時中米国における外国語教授法研究の成果は日本の英語教育界にインパクトを与えずにはおかなかった。この様な背景下で『研英大』の米音表記が成されたものと思われる。
10. 表2に示されているように英米音併記の順は恣意的である。
11. 第3版・第4版では二重母音・三重母音の区別をしていないが、第5版では明確に区別している。[ɑə], [ɔə]との関連で [ɑ:], [ɔ:] が二重母音に分類される矛盾がある。
12. 第1版・第2版の [g] の代わりに IPA の [ŋ] が採用されている。表2参照。
13. 第3版 p. xxvii
 fire, flour の類は詩ではしばしば一音節として扱われる。
 普通の綴りは音節を切らない習慣となっているので、本辞典では [faɪə | faɪə] [flaʊə | flauə] とした。音声学でもこれを三重母音と称することがあるが、普通には [ái·ə | áí·ə] [áu·ə | áu·ə] と二音節の語とみてよい。
14. 第4版では使用していない。
15. Voiced t [t̚] の表記はむしろ Webster's Third New International Dictionary of the English Language Unabridged の [d] 表記の方が理解し易いかもしない。
16. 表2参照
17. 表2参照
18. 橋本貞雄「A Study of English Words—A Proposal of Adopting the Diacritical Marks Instead of IPA for English Transcription—」
 『横浜商大論集』第19巻第2号, pp. 87-88

参考文献

- 岡倉由三郎『新英和大辞典』（研究社、1927）
 『新英和大辞典』（研究社、1936）
 市川三喜編『新英和大辞典』（研究社、1953）
 岩崎民平・河村重治編『新英和大辞典』（研究社、1960）
 小稻義男編『新英和大辞典』（研究社、1980）

付表1 『研英大』第1版

音標文字略解

I. 母音 (VOWELS)

(注意) 音字の次の: は其音の長音を示す。

| 音字 | 例 |
|----|-------------------------------------|
| ɑ: | father [fɑ:ðə], barn [bɑ:n] |
| æ | cat [kæt], man [mæn] |
| e | men [men], get [get] |
| ɔ | cathedral [kæθi:drəl], never [névə] |
| ɔ: | bird [bɜ:d], search [sɜ:tʃ] |
| i | bit [bit], finish [fɪnɪʃ] |
| i: | bee [bi:], machine [məʃi:n] |
| o | domain [doméin], o'clock [oklɔk] |
| ɒ | box [bɒks], waddle [wɒdl] |
| ɔ: | shawl [ʃɔ:l], tortoise [tɔ:tas] |
| u | put [put], book [buk] |
| u: | rude [ru:d], too [tu:] |
| ʌ | but [bat], somebody [sʌmbədi] |

重母音 (DIPHTHONGS)

| | |
|-----|---------------------------|
| ei | day [dei], great [greit] |
| ou | show [ʃou], boat [bout] |
| eo | hair [heə], there [ðeo] |
| ai | fly [flai], high [hai] |
| au | how [hau], proud [praud] |
| iə | steer [stie], here [hie] |
| oi | oil [ɔil], toy [toi] |
| ɔə | fore [fɔə], door [dɔə] |
| uə | poor [puə], tour [tuə] |
| aɪə | wire [waɪə], hire [haɪə] |
| auə | hour [auə], flour [flauə] |

II. 父音 (CONSONANTS)

アルファベットのうち b, d, f, h, k, l, m, n, p, r, s, t, v, w, z が其母音標文字とし

て用ひられることは Webster 式の如くである。本書では尙此他に g を以て Jones 式の g に代用した。其他の注意すべき音字を次に例示する。

| 音字 | 例 |
|------|---|
| j | yet [jet] |
| ɟ | bring [brɪɟ], finger [fɪɟgə] |
| ʃ | shut [ʃʌt], fish [fɪʃ] |
| tʃ | cheese [tʃi:z], ditch [dɪtʃ] |
| θ | thin [θɪn], bath [bɑ:θ] |
| ð | this [ðɪs], bath [beɪð] |
| ʒ | vision [vɪʒən], azure [æʒə] |
| dʒ | judge [dʒʌdʒ] |
| (h)w | when [(h)wen] |
| ɹ | but [ɹ] |
| ɹ̥ | 舌打の音。 |
| ɹ̥ | [m̥] [n̥] の類はその無聲音化を示す。 |
| | ‘r-linking’ のこと。-r, -re で終る語で發音が [ə] [ɔ:] [ɔ:] [ɑ:] となるものは、之に續く母音の前に [r] 音が加へられること。 |
| | 例— far away [fɑ:rəweɪ] |

外 國 音

| | |
|---|-------------------------------------|
| ɕ | ドイツ語 ‘ich’ の <i>ch</i> で「ヒ」の父音。 |
| ɲ | フランス語 ‘cognac’ の <i>gn</i> で [ɲ] に |
| x | (蘇) loch [lɔx] [類する。 |
| y | 唇を [u] の場合の如く圓くして [i] と發音する。 [發音する。 |
| ɸ | 唇を [o] の場合の如く圓くして [c] と |
| œ | 唇を [ɔ] の場合の如く圓くして [ɛ] と |
| ɥ | フランス語 ‘nuit’ の <i>u</i> 。 [發音する。 |
| f | 兩唇の「フ」の基音。 |
| u | ugh [uh] 唇を圓めぬ [u]。 「るし、 |
| ̃ | [ā] [ē] [ī] [œ] の [̃] は鼻音化のし |

付表2 『研英大』第2版 音標文字略解

I. 母 音 (VOWELS)

(注意) 音字の次の : は其の音の長音を示す。

音字 例

- a *à la mode* [a la:mɔd]
 ɑ: *ask* [ɑ:sk], *alms* [ɑ:mz], *chant* [tʃɑ:nt],
glance [glɑ:ns], *father* [fɑ:ðə], *bar*
 [bɑ:], *barn* [bɑ:n], *path* [pɑ:θ], *heart*
 [hɑ:t], *sergeant* [sɜ:dʒənt]
 æ *accept* [æksɛpt], *cat* [kæt], *man* [mæn],
strap [stræp], *fashion* [fæʃən], *glad*
 [glæ:d]
 ʌ *but* [bʌt], *butter* [bʌtə], *son* [sʌn],
somebody [sʌmbədɪ], *couple* [kʌpl]
 e *men* [men], *get* [get], *bread* [bred]
 ə *ago* [əɡəʊ], *cathedral* [kəθi:drəl], *ama-*
zon [æməzən], *never* [névə], *perhaps*
 [pəhæps], *diploma* [diplómə], *schol-*
ar [skólə], *sailor* [séilə], *moment* [móu-
 mɛnt], *datum* [déitəm]
 ɔ: *bird* [bɜ:d], *burn* [bɜ:n], *perch* [pɜ:tʃ],
search [sɜ:tʃ], *word* [wɜ:d], *fur* [fɜ:]
 i *bit* [bit], *finish* [fɪniʃ], *mystic* [mɪstɪk],
English [ɪŋɡlɪʃ], *estate* [ɪstéit], *believe*
 [bɪli:v], *react* [riækt], *rely* [rilái],
adage [ædɪdʒ], *separate* [séparɪt], *col-*
lege [kólɪdʒ], *naked* [néikɪd], *donkey*
 [dónki], *recipe* [résipi], *vanity* [væniti]
 i: *bee* [bi:], *heed* [hi:d], *meat* [mi:t],
seize [si:z], *thief* [θi:f], *machine* [mə-
 ʃi:n] [oklók]
 ɒ *domain* [doméin], *omit* [ómɪt], *o'clock*
 ɔ *box* [bɒks], *got* [gɒt], *waddle* [wɒdl]
 ɔ: *soft* [sɔ:ft], *glory* [glɔ:ri], *board* [bɔ:d],
tortoise [tɔ:təs], *call* [kɔ:l], *water*
 [wɔ:tə], *walk* [wɔ:k], *wart* [wɔ:t],
author [ɔ:θə], *shawl* [ʃɔ:l], *taught*
 [tɔ:t], *fought* [fɔ:t], *door* [dɔ:] (cf. [ɔə])
 u *full* [fʊl], *put* [put], *book* [buk], *wolf*
 [wʊlf]
 u: *rude* [ru:d], *moon* [mu:n], *too* [tu:],
two [tu:], *soup* [su:p], *blue* [blu:], *suit*
 [s(j)u:t], *ouzel* [ú:zl]

重母音 (DIPHTHONGS)

- ai *kite* [kait], *mild* [maɪld], *fly* [flai],
high [hai], *either* [áibə], *height* [háit]
 au *owl* [aul], *how* [hau], *proud* [praʊd],
bound [baʊnd]
 ei *ale* [eil], *station* [stéifən], *rain* [rein],
day [dei], *they* [ðei], *veil* [veil], *great*
 [greit], *eight* [eit]
 ɛə *aerial* [éariəl], *hair* [hɛə], *care* [keə],
pear [peə], *there*, *their* [ðɛə] [piə]
 iə *fear* [fiə], *steer* [stiə], *here* [hiə], *pier*
 ou *old* [ould], *boat* [bout], *show* [ʃou],
photo [fɔutou], *so* [sou], *soul* [soul],
toe [tou], *tone* [toun]
 oi *oil* [ɔil], *toy* [toi], *buoy* [boi]
 ɔə *boar* [bɔə], *fore* [fɔə], *door* [dɔə], *war*
 [wɔə] (cf. [ɔ:l])

- uə *poor* [puə], *tour* [tuə], *moorish* [múə-
 aɪə] *wire* [waɪə], *hire* [haɪə] [ɹɪʃ]
 auə *hour* [áua], *flour* [fláua], *tower* [táua]

- ju *circular* [sɜ:kjʊlə]
 ju: *few* [fju:], *fewd* [fju:d], *lute* [lju:t]
 juə *pure* [pjua], *lure* [ljuə]

II. 子 音 (CONSONANTS)

アルファベットのうち b, d, f, h, k, l, m, n, p, r, s, t, v, w, z が其の儘音標文字として用ひられることはウェブスター (Webster) 式の如くである。本書では尙此の他に g を以て萬國式音標文字の g に代用した (例—*glide* [glaid], *go* [gou])。其の他の注意すべき音字を次に例示する。

音字 例

- j *yet* [jet], *yes* [jes], *yacht* [jɔt]
 ɲ *bring* [brɪŋ], *finger* [fɪŋgə], *stronger*
 [strɔŋgə], *tank* [tæŋk], *banquet* [bæŋ-
 kwit], *minx* [mɪŋks]
 ʃ *shut* [ʃʌt], *fish* [fɪʃ], *ocean* [óuʃən],
excursion [ɪkskú:ʃən], *station* [stéifən]
 tʃ *cheese* [tʃi:z], *ditch* [ditʃ], *future*
 [fjú:tʃə]
 θ *thin* [θɪn], *three* [θri:], *bash* [ba:θ]
 ð *this* [ðis], *bathe* [beɪð] [méɜ:
 ʒ *vision* [vɪʒən], *azure* [éɜ:
 dʒ *judge* [dʒʌdʒ], *gem* [dʒem], *ginger*
 [dʒɪndʒə], *orgy* [ó:dʒi], *verdure*
 [vɜ:dʒə]

(h)w *when* [(h)wen] (=hwen or wen)

kw *quilt* [kwɪlt], *cuisine* [kwizɪ:n]

ɹ *tut* [ɹ] 舌打の音。

° [ŋ] [ŋ] の類はその無聲音化を示す。
 'r-linking' に就いて。-r, -re で終る語で
 發音が [ə] [ɜ:] [ɔ:] [u:] となるものは、之
 に續く母音の前に通例 [r] 音が加へられ
 る。例—*far away* [fá:rəwei]

外 國 音

- ɕ ドイツ語 'ich' の *ch* で「ヒ」の子音。
 ʃ 兩唇を用ひての「フ」の基音。
 ʝ フランス音: 'cognac' の *gn* の音で
 [nj] に類する。
 ɥ フランス音: 'nuit' の *u* の音。
 uɥ *ugh* [uɥ] 唇を閉めずに發する [u]。
 x スコットランド音: *loch* [lɒx] の *ch*
 の音。
 ɣ 唇を [u] の場合の如く圓くして [ɪ]
 と發音する。
 ø 唇を [o] の場合の如く圓くして [e]
 と發音する。
 œ 唇を [ɔ] の場合の如く圓くして [e]
 と發音する。
 ̃ [õ] [ẽ] [õ] [ẽ] はフランス語鼻母音
 で ̃ は鼻音化の記號。

付表3 『研英大』第3版

発音記号表

| 母音 | | 子音 | | 非英語音 | |
|-------|-----------------------------------|------|--------------|------|---------------------------|
| 音標文字 | 例 | 音標文字 | 例 | 音標文字 | 例 |
| 米音 英音 | | | | | |
| ɑ ɒ | ox, dollar | b | bed, web | a | ami [F] |
| ɑ: ɑ: | father, saga | d | day, good | ɑ̃ | en passant [F] |
| ɑə ɑ: | arm, car | ð | this, smooth | ē | Chopin [F] |
| æ æ | add, gas | dʒ | gem, judge | ẽ | humph |
| æ ɑ: | after, cast | f | fan, roof | õ | bon, compte [F] |
| ai ai | eye, nice | g | gum, big | ø | Goethe [G], milieu [F] |
| au au | out, now | h | hat, who | œ | oeuvre [F] |
| e e | end, pen | hw | what | œ̃ | vingt-et-un [F] |
| ei ei | ace, they | j | yes, you | u | ugh (unrounded [u]) |
| ɛə ɛə | air, care | k | kind, luck | y | kümmel [G], tutu [F] |
| ɛ: ɛə | airy, Mary | l | lark, cool | ç | ich [G] |
| ə ə | abandon, April, system, circus | m | man, emblem | ʀ | ugh |
| ə ɒ | mother, actor | n | note, moon | ʁ | nuance [F] |
| ə: ə: | earth, bird | ŋ | ink, king | ʁ̃ | Champagne [F] |
| i i | ink, city | p | peace, cup | ɿ | tut (alveolar click) |
| i: i: | even, bee | r | radio, try | x | loch [Sc.], Bach [G] |
| iə iə | ear, here' | s | sea, mass | ɰ | uh-huh |
| ou ou | open, show | ʃ | ship, fish | | |
| ou ou | obey, domain | t | too, tent | | |
| o: ɔ: | orient, Tory | θ | think, both | | |
| oə ɔ: | oar, shore | tʃ | chair, catch | | |
| ɔ: ɔ: | all, saw | v | very, love | | |
| ɔ: ɒ | dog, soft | w | win, away | | |
| ɔə ɔ: | order, north | z | zoo, jazz | | |
| ɔi ɔi | oil, boy | ʒ | measure | | |
| u u | good, put | | | | |
| u: u: | moon, food | | | | |
| uə uə | poor, tour | | | | |
| ʌ ʌ | up, money | | | | |

記号

' primary stress
 ` secondary stress
 ° or ° (symbol of voicelessness)

省略してもよい音は
 a, h, i, j, k, p のよ
 うに斜体で示す: 例—
 local [lókəl], when
 [bwen], fertile [fɛ:tɪl],
 Tuesday [tʃú:zdi], tinc-
 ture [tɪŋktʃə], symptom
 [sɪmptəm]

☞ 米國と英國とで発音を異にする語の場合は先きに米音を示し、次に縦線を隔てて英音を示した; [hat|hət] とあれば [hat] が米音で, [hət] が英音であることを示す。詳しくは巻頭の「発音解説」(xxvi ページ以下) 参照。

付表4 『研英大』第4版

発音記号表

| 母音 | | 子音 | | 非英語音 | |
|------|-------|------|----------------|------|--------------------------------|
| 音声記号 | 例 | 音声記号 | 例 | 音声記号 | 例 |
| 英音 | 米音 | | | | |
| ɑ: | ɑ: | b | bed, web | ɐ | para [Port.] |
| ɑ: | æ | d | day, good | ɪ | Kuibyshev [Russ.] |
| ɑ: | ɑə | ð | this, smooth | ø | milieu [F], Goethe [G] |
| æ | æ | dʒ | gem, judge | ö | August [Swed.] |
| ai | ai | f | fan, roof | œ | oeuvre [F], Köln [G] |
| au | au | g | gum, big | ʊ | ugh (unrounded [u]) |
| e | e | h | hat, who | y | tutu [F], kümmel [G] |
| ei | ei | j | yes, you | ç | ich [G] |
| ɛə | ɛə | k | kind, luck | F | Fuji [Jap.] |
| ɛər | ɛ(:)r | l | lark, cool | J | Nagy [Hung.] |
| ə | ə | m | man, emblem | ł | Wrocław [Pol.] (dark "l") |
| ə | ə | n | note, moon | ʎ | llano [Sp.] |
| ə: | ə: | ŋ | ink, king | ɲ | Champagne [F], signor [It.] |
| i | i | p | peace, cup | ɾ | Dvořák [Czech] |
| i: | i: | r | radio, try | ɹ | tut (alveolar click) |
| iə | iə | s | sea, mass | x | loch [Sc.], Bach [G] |
| iər | i(:)r | ʃ | ship, fish | ɥ | nuance [F] |
| ou | ou | t | too, tent | ʎ | [ɥ] Verein [G] |
| ɔ | ɑ | θ | think, both | | |
| ɔ | ɔ: | tʃ | chair, catch | | |
| ɔ: | o: | v | very, love | | |
| ɔ: | oə | w | win, away | | |
| ɔ: | ɔ: | z | zoo, jazz | | |
| ɔ: | ɔə | ʒ | measure, rouge | | |
| ɔi | ɔi | | | | |
| u | u | | | | |
| u: | u: | | | | |
| uə | uə | | | | |
| uər | u(:)r | | | | |
| ʌ | ʌ | | | | |
| ʌr | ə:r | | | | |

記号

- ˈ primary stress
- ˌ secondary stress
- ~ nasalization
- ˚ voicelessness
- ˑ syllabic consonant
- ˙ retroflexion

省略してもよい音は *a, h, i, j, k, p* のように斜体で示す: 例 — local [lɔːkəl], when [hwen], player [plɛɪə], lunar [lɪˈnɜːnə], length [lɛŋkθ], pseudo [psɛːdʒuːdɔː] (ただし *r* については *ɹ* 「発音と綴字」)

[ɹ] 英国と米国とで発音を異にする語の場合は先きに英音を示し、次に縦線を隔てて米音を示した: [hɒt | hɑt] とあれば [hɒt] が英音で, [hɑt] が米音であることを示す。詳しくは巻頭の「発音と綴字」(xxii ページ以下) 参照。

付表5 『研英大』第5版

発音記号表

| 母音 | | 子音 | |
|----------------|--------------------|---------|----------------------------|
| 短母音 | | 閉鎖音 | |
| [ɪ] | lip, gym | [p] | pipe, supper |
| [e] | end, head | [b] | bulb, about |
| [æ, æ(:)] | cap, bag | [t] | time, caught |
| [æ, æ(:) a:] | plant, staff | [ʈ] | water, battle |
| [ɑ, ɑ(:) ɔ] | top, what | [d] | deed, London |
| [ɔ(:) ɔ] | off, cloth | [k] | kick, cactus |
| [ʊ] | cook, pull | [g] | gag, tiger |
| [ʌ] | fun, come | 摩擦音 | |
| 長母音 | | [f] | fife, suffer |
| [i:] | bee, field | [θ] | three bath |
| [ɑ:] | father, calm | [ð] | this, either |
| [ɔ:] | author, law | [s] | sight, famous |
| [u:] | cool, June | [z] | zoo, rise |
| [ə: ɔ:] | term, burst | [ʃ] | ship, cash |
| [ə:(r) ʌr] | hurry, courage | [ʒ] | pleasure, occasion |
| 二重母音 | | [h] | high, head |
| [eɪ] | cake, day | 破擦音 | |
| [aɪ] | ice, fly | [tʃ] | child, pitcher |
| [ɔɪ] | noise, toy | [dʒ] | judge, soldier |
| [aʊ] | house, town | 鼻音 | |
| [oʊ əʊ] | go, boat | [m] | maim, summer |
| [ɪə ɪə] | here, clear | [ŋ] | prism, rhythm |
| [ɛə ɛə] | care, bear | [n] | nine, dinner |
| [ʊə ʊə] | poor, assure | [ŋ] | cotton, sudden |
| [ɑə ɑ:] | far, garden | [ŋ] | hang, ink |
| [ɔə ɔ:] | horse, quarter | 測音 | |
| [ɔə, oə ɔ:] | soar, mourn | [l] | light, silly |
| 三重母音 | | [ɫ] | feel, bulb |
| [aɪə aɪə] | fire, lyre | [ɫ] | tunnel, saddle |
| [aʊə aʊə] | flour, power | 半母音 | |
| 弱母音 | | [j] | yard, onion |
| [ɪ] | ignore, bargain | [w] | way, which |
| [i ɪ] | happy, sociality | [r] | read, rum |
| [ə] | China, oblige | アクセント記号 | |
| [ə ə] | particular, forget | [ˈ] | 第一アクセント |
| [o(u) ə(u)] | November, location | | examine [ɪgzæmɪn] |
| 鼻音化母音 | | [ˈ] | 第二アクセント |
| [ɛ̃] | Chopin | | examination [ɪgzæməneɪʃən] |
| [ɑ̃] | ensemble | | |
| [ɔ̃] | salon | | |